

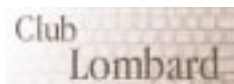
Club Lombard

Lombard開腹

必ずお読みください

PowerBook G3 Series (Bronze keyboard) (開発コード : Lombard)のハードウェアの増設・交換などに関する作業を解説したものです。すべての作業の前提として、個人で開腹した結果の故障については、保証修理にはならないことを了承し、自己責任において作業をしてください。作業に入る前は、かならずACアダプタとバッテリーは抜いておいてください。また、静電気にはくれぐれも注意してください。一瞬にして、全てを失うことがあります。

編集 : ほしいち



[Club Lombardのホームページへ](#)

Produced by Hoshi-ichi.
PDF file's supported by BlueGoat.

Lombard開腹 2

メモリ増設

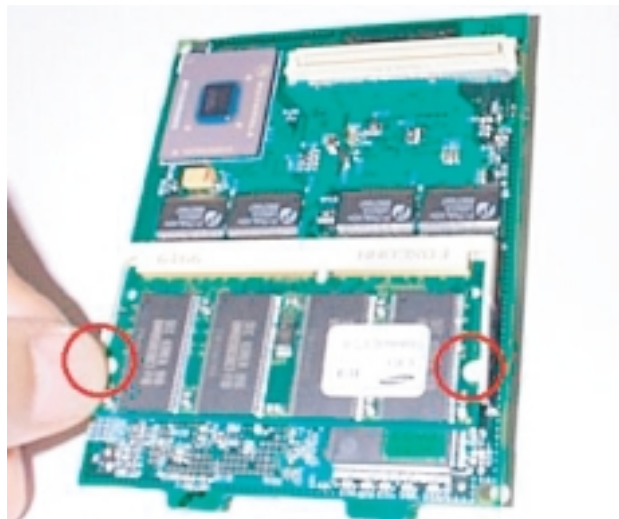
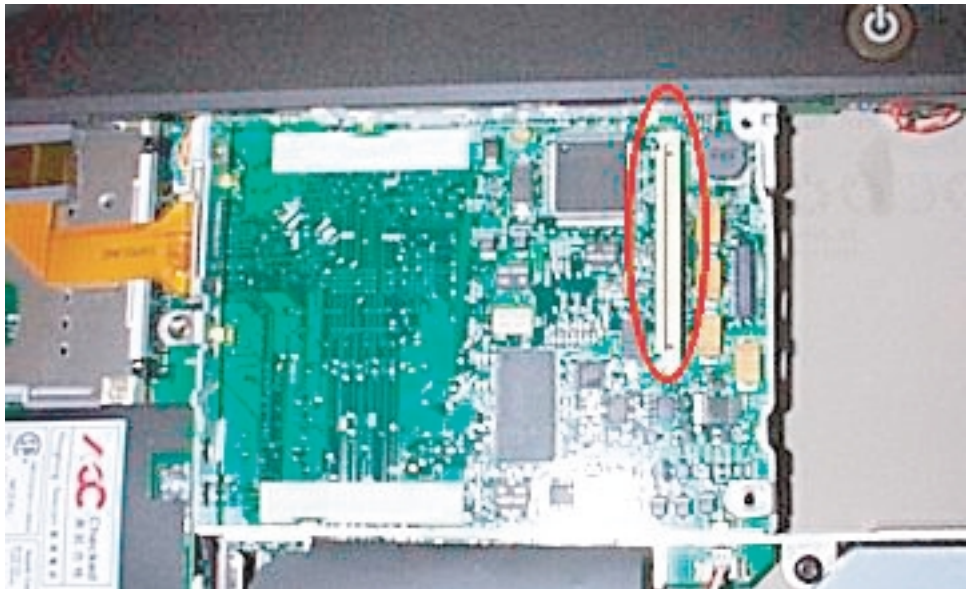
メモリは多ければ多いほど快適にPowerBookを使うことができます。Lombardは上側の2インチスロットに最大256MB、下側の1.5インチスロットには最大128MBのメモリモジュールを挿すことができ、合計384MBまで増設できるようになっています。

必要な工具：プラスドライバーとキーボードロックねじをゆるめるマイナスドライバー

作業時間の目安：馴れた人なら10分弱、初めての人でも30分くらい。

まず、**キーボードとヒートシンクをはずす（共通作業）**にしたがってキーボード、ヒートシンクをはずす。

[図 1] ヒートシンクおよびCPUカードまではずした状態。下側のスロットに増設するには、CPUカードをはずす必要がある。CPUカードは右の図に示した位置のスロットに刺さっている。左側はツメで固定されているので、まずスロットのある右側から、そっと持ち上げてはずす。（上側スロットにメモリを増設するだけなら、この作業は不要。CPUカードをマザーボードにつけたまま作業できる。以下の説明では、分かりやすいようにはずした状態で図解している。）。



[図 2] はずしたCPUカード（下側）。すでにあるメモリをはずすときは、このツメを外側に開いてはずす。メモリモジュールが上にはね上がるので、それを抜く（ [図 3] の角度も参照）。

[図 3] メモリは、この角度で抜き差しをする。しっかりと奥まで差し込み、しかるのちに基板と平行になるように倒してゆき、ツメにはめ込む。（下側も同様）



あとは、逆の手順で組み上げる。各スロットはきちんと差し込むこと。また、**キーボードとヒートシンクをはずす（共通作業）**にあるフェライトビードをヒートシンク下に挟まないように注意すること。ヒートシンクをはめるときは、奥側の5つのツメを本体側にしっかりと合わせる。キーボード手前の5つのツメもきちんとはめこむ。起動して「このコンピュータについて」でメモリが認識されていれば完了。